



2019年3月26日
高松空港株式会社

高松空港 国際線の着陸料等の新料金体系の 導入について

高松空港株式会社（代表取締役社長：渡部哲也）は、2019年4月1日より、高松空港の国際線の着陸料等の空港使用料を改定いたします。

新しい空港使用料の導入によって、エアラインが負担する料金の変動費化を図り、旅客需要の変動リスクをエアラインと空港が共有します。また、新規就航や既存路線の増便を促進するための割引制度も併せて導入します。

高松空港株式会社は、四国・瀬戸内のNo.1の国際空港となることを目指して、今後も様々な施策に取り組んでまいります。

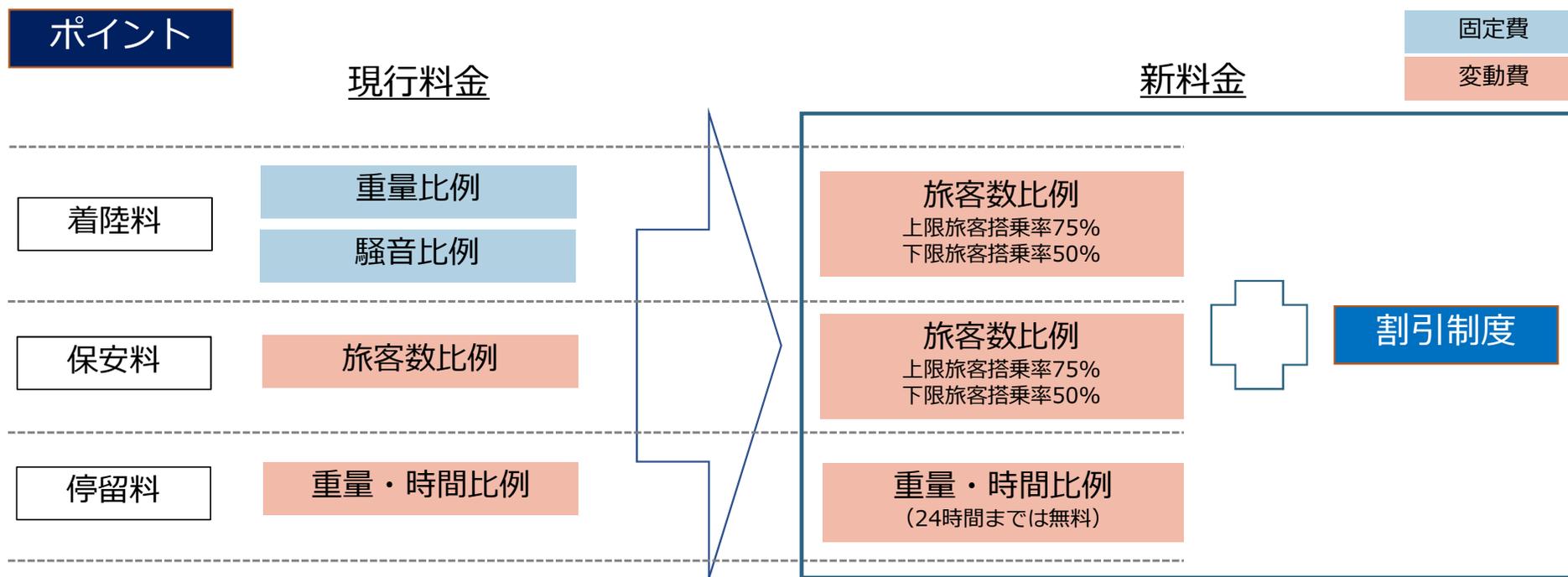
新空港使用料の概要

- ▶ 旅客数に連動する料金の割合を増やし、エアラインの需要変動リスクを軽減
旅客搭乗率に応じた料金体系の導入
- ▶ 新規就航や増便、拠点化を促す割引制度
複数の割引制度を導入し、エアラインの就航意欲を喚起

※国内線の新空港使用料については、準備が整い次第導入予定

コンセプト

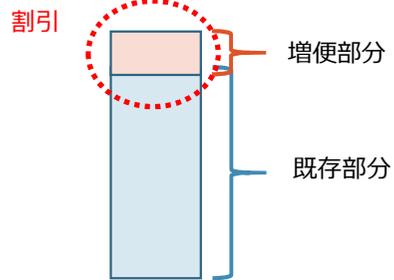
- ▶ 旅客数に連動する料金の割合を増やし、エアラインの需要変動リスクを軽減
 - 旅客搭乗率に応じた料金体系の導入
- ▶ 新規就航や増便、拠点化を促す割引制度
 - 複数の割引制度を導入し、エアラインの就航意欲を喚起



割引制度

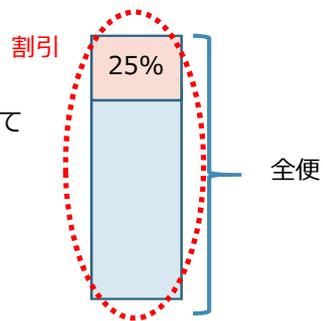
1. 増便割引

- 増便分に対して適用
- 1年目：75%、2年目：50%、3年目：25%



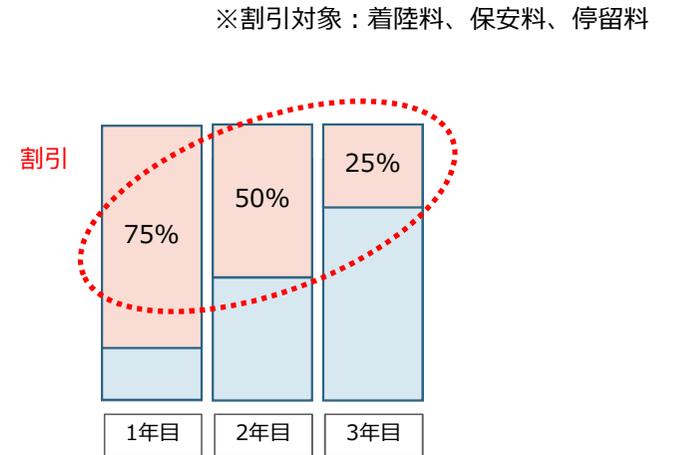
2. デイリー化割引

- デイリー化した国際路線に対して適用



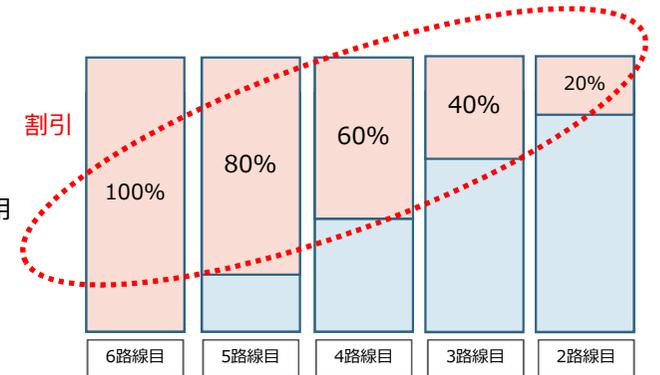
3. 新規就航割引

- 新規就航に対して適用



4. 拠点化割引

- 就航路線数に応じて割引を適用

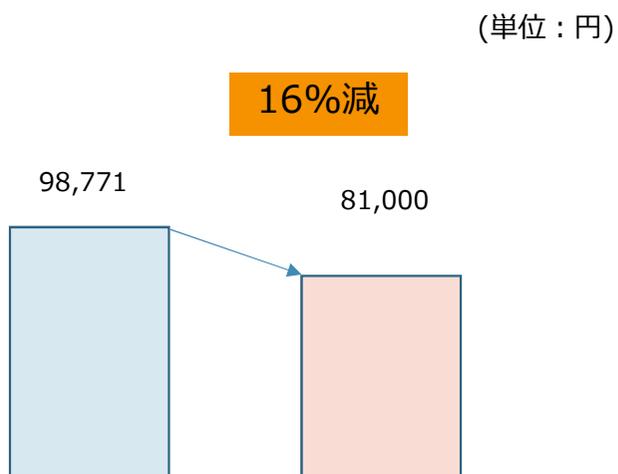


参考：着陸料および保安料の新旧比較（便あたり）

例①

条件

| | |
|-------|---------|
| 機材 | A320 |
| 座席数 | 180 |
| 騒音値 | 90EPNdb |
| 旅客搭乗率 | 75% |



例②

条件

| | |
|-------|----------|
| 機材 | A330-300 |
| 座席数 | 307 |
| 騒音値 | 94EPNdb |
| 旅客搭乗率 | 75% |

